

《外装、内装工事を行っています》

11月に入り一気に気温も下がり、冬を間近に感じる季節となりました。現場作業は夏も大変ですが、冬も寒さや雪といった天気と戦いながらの厳しい時期となります。

現場の方は外部では塗装吹付などを行っており、12月には足場を解体して外観をお披露目できるかと思えます。また、内部の方も着々と内装工事が進んでいます。日々いろいろな職人さんたちがやってきて、タスキをつなぎながら、完成というゴールに向かってがんばっています。



《定点撮影》外装工事中 R5.11.13



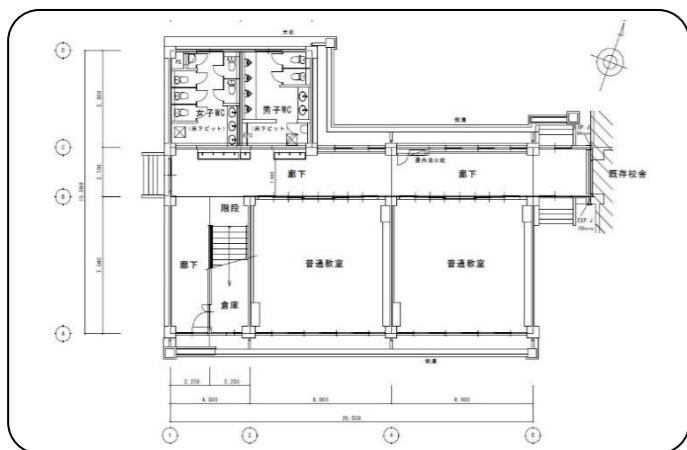
《定点撮影》1階内装工事中 R5.11.17

■工事概要

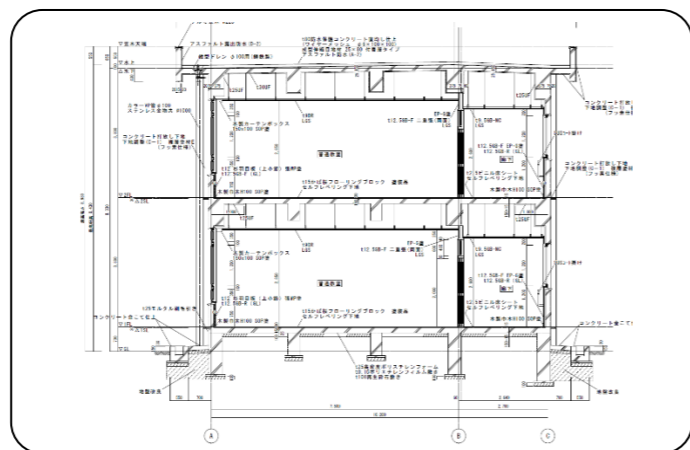
工事名	森田中学校校舎増築工事
工期	令和5年3月1日～令和6年1月26日
監理	福井市建設部建築事務所営繕課
設計	(有)アーキズム建築設計事務所
施工	(株)竹野組
内容	校舎増築 鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積521.22m ²

■工程表 全体工期：R5.3.1～R6.1.26

	R5年										R6年	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		
校舎棟	仮設工事 撤去工事											
			杭工事	基礎工事								
				躯体工事								
									外装工事	外構工事		
									内装工事			

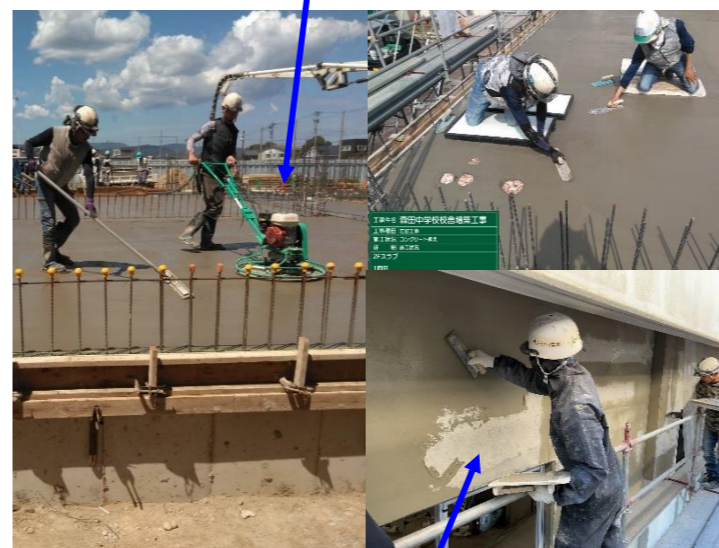


【1階平面図】



【断面詳細図】

広い面積の床はコテの他に機械も使用して仕上げます



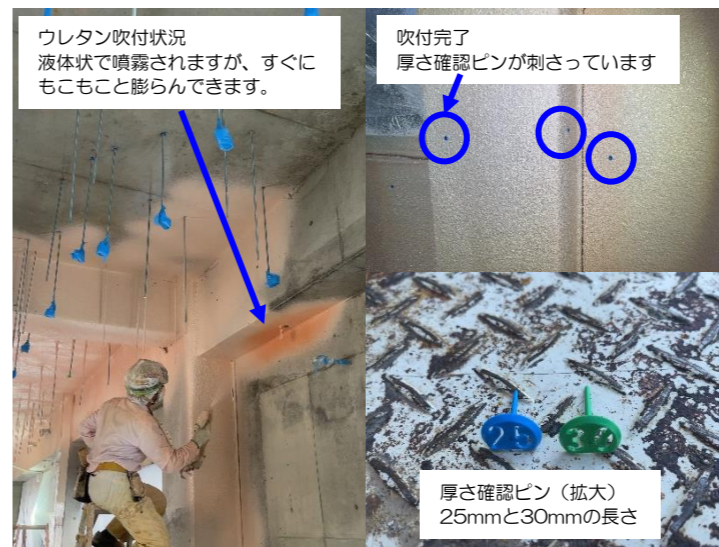
壁のモルタル塗りを行っています（まさに職人技）



溶接固定完了

溶接固定状況

すきまを防水モルタル埋



ウレタン吹付状況
液体状で噴霧されますが、すぐにもこもこ膨らみます。

吹付完了
厚さ確認ピンが刺さっています

厚さ確認ピン（拡大）
25mmと30mmの長さ

《左官工事のご紹介》

左官とは建物の床や壁などを鏝（コテ）という道具を使って塗り仕上げの工事のことです。

写真のように床のコンクリートを均したり、壁にモルタルの下地を塗ったり、珪藻土や漆喰といった仕上げを施したりします。日本の伝統的な技術職であり、起源は縄文時代までさかのぼると言われています。時代とともに芸術性においても発展し、現在では新しい素材や工法を取り入れながら現代の日本建築で活躍し続けています。

《建具工事のご紹介》

建具工事は外壁開口部にアルミサッシを取付けたり、出入口のドアなどを取付ける工事です。

鉄筋コンクリート造では、アンカーと呼ばれる金物をあらかじめ躯体に仕込んでおき、それと建具を溶接してがっちり固定します。（溶接時はとても強い光が発生するので、保護メガネが必須です）

建具と躯体廻りのすきまは防水モルタルで埋めて雨がこもらないようにします。

《発泡ウレタン吹付工事のご紹介》

発泡ウレタン吹付は建物の断熱性を高める「断熱工事」の一種です。ウレタンフォームと呼ばれる2種類の原液の材料を特殊な機械を使用して、壁や天井に混合しながら噴霧状に吹付けます。すると2液が反応して発砲しながら膨らみ、断熱層を形成します。吹付後は発泡スチロールの様な質感になります。

決まった長さのピンを刺すことで、ウレタン吹付の厚さを満足しているか管理しています。

工事完成までご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます

発行者：株式会社 竹野組 森田中学校校舎増築工事作業所

